

豊かな体験を通して日々成長する兼次っ子！！😊

笑顔×チャレンジ＝心豊かな成長😊



一年生の親子ふれあい給食＆水遊び😊



三年生の学び合い＆今泊サイクリング😊



六年生の議会傍聴＆村内戦跡巡り😊



平和の詩 祖母思い書く

【今帰仁】今帰仁村立兼次小学校（大城豊校長）5年生の志慶眞空良さんが5日、「慰霊の日」を前に平和の詩を書いた。「平和の詩を書きたい。絵を描きたい」と一心不乱に書き上げた。2年生の頃から絵を描いて絵本を作り、自分の思いを表現してきた。学習支援員で志慶眞さんを見てきた宮城すま子さんは「最近、大きな紙に字を大きく書けるようになった」と成長を喜んだ。

（赤嶺幸代通信員）

志慶眞空良さんの平和の詩

平和になりたいから
大切にすることがある
大切にしたいから
平和になることがある
自分も大切とは
人とはちがう自分のことを認めること
そして
認めるということは
他人のことを分かってあげること
そうしたら
みんなが 自分の 仲間になってくれる
きっと ケンカや戦争がなくなってくれる
なくなると
世界のみんなが明るくなる
戦争やケンカなんて
いいことなんか 一つもない

今帰仁兼次小5年 志慶眞さん

絵と水色 優しさ映る

詩では、人と違う自分を認めることは他人を分けることにつながり、みんなが自分の仲間になってくれたらケンカや戦争はなくなる。と平和を表現している。

「戦争やケンカなんていいことなんか 一つもない」と結び、最後の一文は水色でつづった。志慶眞さんは「戦争やケンカをする」と自由を忘れるという

宮城さんは「私だったら強調する箇所は赤を使うと思う。でも空良さんは水色。空良さんの優しさが伝わってくる」と目を細めた。

志慶眞さんは「この詩をうるま市に住む、ほくの大好きな、まりこばあちゃんに見てもらいたい」と声を弾ませる。「まりこばあちゃんには沖縄タイムスを毎日読んでいます。まりこばあちゃんをほくの詩で元気づけたいな」と満面の笑みを見せた。

多くの人へ届け！平和への“想い”😊

2025年（令和7年）6月19日（木）沖縄タイムス掲載